

教皇の「マリアの穢れなき御心への奉獻の祈り」

3月25日にとり行われる、教皇フランシスコによるロシアとウクライナの「マリアの穢れなき御心への奉獻の祈り」の全文が発表された。奇跡が起こって、平和が訪れるように、神様にとりなしてくださいと、心のこもった長い祈り。

2022/03/24

教皇フランシスコによる、ロシアとウクライナの「マリアの穢れなき御心への奉獻」のための祈りの全文が発表された。

教皇は、イタリア時間3月25日17時（日本時間3月26日午前1時）より、バチカンの聖ペトロ大聖堂で共同回心式をとり行われる。この中で、教皇はロシアとウクライナをマリアの穢れなき御心に奉獻される。教皇による奉獻の祈りは、18時半前後に予定されている。

また、同日、ポルトガルの聖母巡礼地ファティマにおいても、教皇特使、コンラート・クライェフスキ枢機卿によって、聖母の穢れなき御心への奉獻がとり行われる。

教皇は、世界のすべての司教、司祭に、この祈りにおいて一致するよう招かれている。

この奉獻において、教皇が唱える祈りの全文（日本語訳）は以下のとおり。

マリアの穢れなき御心への奉獻の祈り

神の御母、わたしたちの母、マリアよ、この懊悩の時、あなたにより頼みます。母であるあなたは、わたしたちを愛し、わたしたちをご存知です。わたしたちが心に抱くいかなるものもあなたに隠すことはありません。いつくしみ深い母よ、わたしたちは何度もあなたの配慮ある優しさ、平安に導くあなたの存在を体験しました。なぜなら、あなたは、わたしたちをいつも平和の君であるイエスに導く方だからです。

しかし、わたしたちは平和の道を見失いました。わたしたちは前世紀の悲劇の教訓を、世界大戦の無数の死

者たちの犠牲を忘れました。国々の共同体としての義務を尊重せず、人々の平和への夢と、若者たちの希望を裏切りました。わたしたちは強欲に取りつかれ、国益の中に閉じこもり、無関心によって心は干からび、エゴイズムによって麻痺してしまいました。神を無視することを選び、欺瞞と共に生き、攻撃性を増し、人命を殺め、軍拡に走り、自分たちが隣人と共通の家を守るべき者であることを忘れました。地上の園を戦争によって破壊し、わたしたちが兄弟姉妹として生きることを望まれる、御父の御心を罪によって傷つけました。自分たち以外の、すべての人、すべてのことに対し無関心になりました。わたしたちは恥をもって言います。主よ、お赦してください！

罪のみじめさの中で、疲れと弱さの中で、悪と戦争の不条理の中で、聖なる母よ、あなたは、神はわたした

ちを見捨てられず、愛の眼差しを注ぎ続け、わたしたちを赦し、再び立ち上がらせたいと望んでおられることを思い出させてくださいます。神はあなたをわたしたちにお与えになり、あなたの穢れなき御心を教会と人類のよりどころとしてくださいました。神の善によって、あなたはわたしたちと共におられ、歴史の最も暗い曲がり角においてもわたしたちを優しく導いてくださいます。

わたしたちはあなたにより頼み、あなたの御心の扉をたたきます。あなたは、愛する子であるわたしたちをいつも見守り、回心へと招かれます。この闇の時、わたしたちを救い、慰めに来てください。わたしたち一人ひとりに繰り返してください。「あなたの母であるわたしが、ここにいないことがありますか」と。あなたはわたしたちの心のもつれと、時代の困難を解くことができになります。わたしたちはあ

なたに信頼いたします。特に試練の時、あなたはわたしたちの祈りをさげすまず、助けに来てくださると確信しています。

ガリラヤのカナで、あなたはイエスの助けを促され、イエスの最初のしるしを世界にもたらしめました。婚礼の祝いが悲しみに変わった時、「ぶどう酒がなくなりました」（

ヨハネ2,3）とあなたはイエスに言われました。御母よ、神にその言葉をもう一度繰り返してください。今日、わたしたちに希望のぶどう酒はなくなり、喜びは消え去り、兄弟愛は薄められたからです。わたしたちは人間性を見失い、平和を壊してしまいました。あらゆる暴力と破壊をしうる者となってしまいました。わたしたちはあなたの母なる助けを急いで必要としています。

御母よ、どうかわたしたちの願いを聞き入れてください。

海の星であるあなたよ、戦争の嵐の中でわたしたちを遭難させないでください。

新しい契約の櫃であるあなたよ、和解の計画と道と呼び起こしてください。

「天の土」であるあなたよ、神の調和を世界にもたらしてください。

憎しみを消し、復讐をなだめ、赦しを教えてください。

戦争からわたしたちを解放し、核兵器の脅威から世界を守ってください。

ロザリオの元后、祈り、愛することの必要を呼び覚ましてください。

人類家族の元后、人々に兄弟愛の道を示してください。

平和の元后、世界に平和をお与えください。

御母よ、あなたの嘆きが、わたしたちの頑な心を動かしますように。あなたがわたしたちのために流した涙が、憎しみで干上がった谷に再び花を咲かせますように。武器の音が止まぬ中、あなたの祈りがわたしたちを平和に向かわせますように。あなたの母なる手が、爆撃の下で苦しみ、逃げまどう人々に優しく触れますように。あなたの母なる抱擁が、家と祖国を後にせざるを得ない人々に慰めを与えますように。あなたの苦しむ御心が、わたしたちに憐れみの心を動かし、扉を開けさせ、傷つき、見捨てられた人類の世話にあたらせますように。

聖なる神の御母よ、あなたが十字架の下におられた時、イエスはあなたのそばの弟子を見て、「御覧なさい、あなたの子です」（ヨハネ 19,26）とあなたに言われました。こうしてイエスはわたしたち一人ひとりをあなたに委ねられました。それ

から、イエスは弟子に、すなわち、わたしたち一人ひとりに、「見なさい、あなたの母です」（同19,27）と言われました。御母よ、今、わたしたちの人生、わたしたちの歴史の中に、あなたをお迎えしたいと思えます。今この時、疲れ切り、動揺した人類は、あなたと共に十字架の下にいます。そして、あなたに信頼し、あなたを通してキリストに自らを奉獻したいと望んでいます。愛をもってあなたを崇敬するウクライナの民とロシアの民は、あなたにより頼んでいます。それに対し、あなたの御心は、彼らのために、そして戦争、飢餓、不正義、貧困によって殺されたすべての人々のために鼓動しています。

神とわたしたちの御母よ、わたしたちはあなたの穢れなき御心に、わたしたち自身を、教会を、全人類を、特にロシアとウクライナを、厳かに託し、奉獻いたします。わたしたち

が信頼と愛を込めて唱えるこの祈りを聞き入れてください。戦争を止め、世界に平和をととのえてください。あなたの御心から出た「はい」という言葉は、平和の君に歴史の扉を開きました。あなたの御心を通して、再び平和が訪れることを信じています。あなたに全人類の未来と、人々の必要と願い、世界の苦悩と希望を奉獻いたします。

あなたを通して、地上に神のいつくしみが注がれ、平和の穏やかな鼓動がわたしたちの日常に再び響きますように。「はい」と答えたおとめよ、あなたの上に聖霊は訪れました。わたしたちに神の調和を再びもたらしてください。「ほとばしる希望の泉」である方、渴いたわたしたちの心をいやしてください。人類をイエスに織り込んだ方、わたしたちを交わりを作り出す者にしてください。わたしたちの道を歩まれた方、

平和の小径を導いてください。アーメン。

(邦訳VATICAN NEWS)

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/ maria-no-houken-no-lnori/> (2025/03/27)